オンライン資格確認端末用
設定移行ツール

オンライン資格確認端末の機器入れ替え時に、旧端末から新端末へ設定情報の移行をスムーズにおこなうソフトウェアです。

動作環境

●移行元対応端末（旧端末）
- EPSON 製 Endeavor JS210
- HP 製 ProDesk 400 G6 Desktop Mini
- APX-MEDICAL/QC
- APX2-MEDICAL/QCA
- APX2-MEDICAL/QCB
- APX2-MEDICAL/QCC
- MPC-LVZ3P/QC

●移行先対応端末（新端末）
- APX2-MEDICAL/QCC
- APX2-MEDICAL/QCD
- MPC-NCI3W1/QC

INDEX

設定を移行する 2
保存した設定情報を削除する 7
困った時には 8
エラーメッセージ一覧 12
サポートセンターへのお問い合わせ 17

© I-O DATA DEVICE, INC.
02 版

設定を移行する

事前準備

※ 本ソフトウェアがインストールされた USB メモリーをお持ちの場合は読み飛ばしてください。

1 FAT32/NTFS/exFAT 形式でフォーマットされた 1GB 以上の USB メモリーを準備し、パソコンにつなぐ

2 ダウンロードした SettingMigrationTool_QC_SE.exe をダブルクリック
→デスクトップに［SettingMigrationTool_QC］フォルダーが作成されます。

3 作成された［SettingMigrationTool_QC］を USB メモリーにコピーする

4 エクスプローラーを起動し、USB メモリーを右クリックして［取り出し］をクリックし、USB メモリーをパソコンから取り外す

バージョンアップ方法

最新のソフトウェアをご利用ください。
※本ソフトウェアを起動している場合は、終了してから下記手順を実行してください。
①下記 弊社 Web ページより最新のソフトウェアをダウンロードする
　https://www.iodata.jp/lib/product/a/8565.htm
②ダウンロードした［SettingMigrationTool_QC_Updater_xxx.exe］（xxx はバージョン番号）をダブルクリック
③画面の指示にしたがってインストールする
④デスクトップ上に作成された「SettingMigrationTool_QC_Updater」フォルダーを開く
⑤［SettingMigrationTool_QC_Core(.dll)］ファイルを選び、コピーする
⑥本ソフトウェアが保存されている USB メモリーを開き④のファイルを上書きで貼り付ける

「SettingMigrationTool_QC.exe」を起動し、画面上のバージョンが更新されていれば、アップデート完了です。



旧端末の設定を保存する

ご注意

- 本ソフトウェアの動作中は、USB メモリーを取り外さないでください。
- 本ソフトウェアでは、端末内のデータ移行はおこなわれません。データの移行をする場合は、事前に USB HDD などにバックアップしてください。
- USB メモリーにすでに設定が保存されている場合、上書きされます。
- LAN ポートに LAN ケーブルが未接続の場合、LAN ポートの設定は保存されません。必ず設定移行する LAN ポートに LAN ケーブルが接続されている状態で実行してください。2 ポート利用している場合は 2 ポートとも接続してください。（最大 2 ポートまで移行可能）
- ドメイン参加状態の端末では使用できません。

1 移行元の旧端末に本ソフトウェアが保存された USB メモリーをつなぐ

2 USB メモリー内の［SettingMigrationTool_QC.exe］をダブルクリック

※利用規約が表示されたら、内容を確認し［同意する］をクリックしてください。

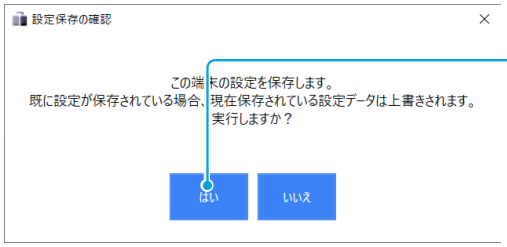
※バージョン確認画面では、本ソフトウェアのバージョンの確認をすることができます。新しいバージョンがある場合は、【バージョンアップ方法】（2 ページ）をご覧になりバージョンアップを実施してください。

3



［設定保存］をクリック

4



［はい］をクリック

→旧端末の設定を USB メモリーに保存します。

5



［OK］をクリック

以上で、USB メモリーに旧端末の設定が保存されました。

6



ステータスに設定を保存した日時が表示されてることを確認し、［x］をクリックして、画面を閉じる

7 エクスプローラーを起動し、USB メモリーを右クリックして［取り出し］をクリックし、USB メモリーを旧端末から取り外す

以上で、旧端末の設定情報が USB メモリーに保存されました。

新端末に設定を書き込む

書き込む前にご確認ください

- 移行元端末をネットワークから切り離していること
- 移行対象のネットワークアダプターに LAN ケーブルが接続されていること
- 共有を許可するアカウントが作成されていること

※ 移行先端末に対して、出荷時設定から上記以外の設定をした場合、設定書込が正常に完了しない可能性があります。

1 移行先の新端末に本ソフトウェアが保存された USB メモリーをつなぐ

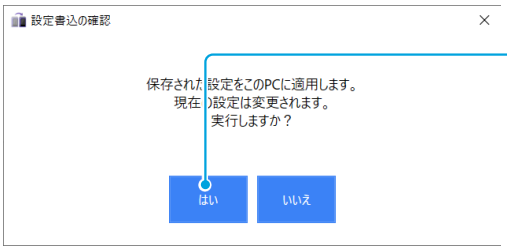
2 USB メモリー内の［SettingMigrationTool_QC.exe］をダブルクリック

3



ステータスに「設定保存済み: (設定を保存した日時)」が表示されてることを確認し、［設定書込］をクリック

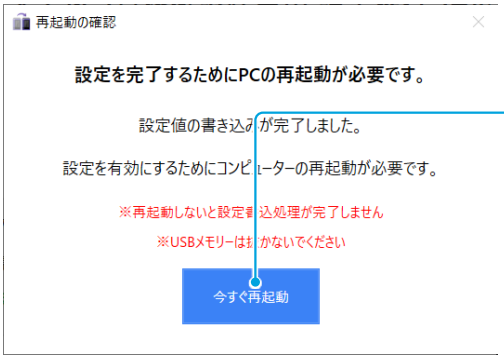
4



［はい］をクリック

→新端末に旧端末の設定を書き込みます。

5



［今すぐ再起動］をクリック

新端末を再起動します。

※ USB メモリーは取り外さないでください。

6



［OK］をクリック

7



［ステータス］を確認し、［x］をクリックして、画面を閉じる

8 エクスプローラーを起動し、USB メモリーを右クリックして［取り出し］をクリックし、USB メモリーを新端末から取り外す

以上で、設定移行が完了しました。

ご注意

- 書き込みが完了した後は、本ソフトウェアは起動できなくなります。
- 移行元と異なる名前のネットワークアダプターに設定が移行される場合があります。詳細はサマリー（下記）で確認してください。
- 移行元で無効に設定しているネットワークアダプターは、移行先では有効のままとなります。必要に応じて手動で無効に設定してください。
- 本ソフトウェアのファイアウォール設定について
  - ・グループが［ネットワーク探索］または［ファイルとプリンターの共有］のファイアウォール規則のみが移行されます。
  - ・移行されるのは、規則の有効 / 無効状態のみです。
  - ・規則のプロファイルについて、移行元と移行先でグルーピングが異なる場合、その規則は移行されません。
    例：移行元でプロファイル「ドメイン」, プロファイル「パブリック」の規則が個別に設定されているが、移行先ではプロファイル「ドメイン , パブリック」として 1 つの規則にまとめられている場合
  - ・移行後、必要に応じて手動でファイアウォール設定を確認してください。
- 設定書込中にエラーが発生した場合、自動的に元の設定値で上書きされます。

サマリーの閲覧方法

USB メモリー内に、「設定移行サマリー .html」という名称で保存されます。

保存した設定情報を削除する

USB メモリーに保存した旧端末の設定情報が、不要になった場合に実行します。

1 本ソフトウェアが保存された USB メモリーをつなぐ

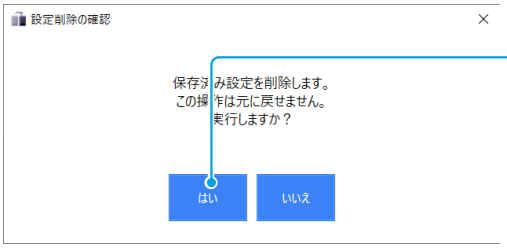
2 USB メモリー内の［SettingMigrationTool_QC.exe］をダブルクリック

3



ステータスに「設定保存済み: (設定を保存した日時)」が表示されてることを確認し、［設定削除］をクリック

4



［はい］をクリック

→旧端末の設定情報を削除します。

5



［OK］をクリック

以上で、設定情報が削除されました。

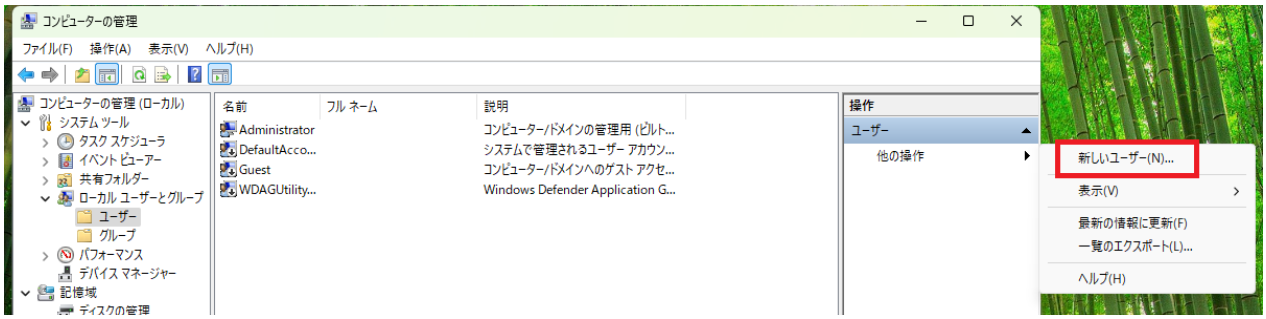
メイン画面のステータスが「設定未保存」に戻ります。

困った時には

共有用アカウントの作成方法

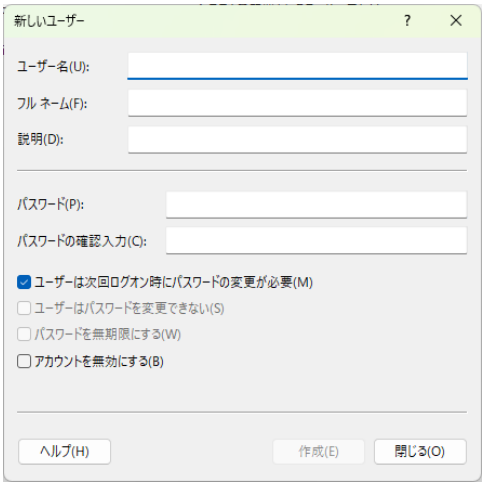
① Windows ボタンを右クリックし、［コンピューターの管理］をクリック

②左のメニューから［システム ツール］→［ローカル ユーザーとグループ］→［ユーザー］をクリックし、右側の操作メニューから［ユーザー］→［他の操作］から［新しいユーザー］をクリック



③必要な情報を入力し［作成］をクリック

※ ユーザー名、パスワードには、旧端末で共有フォルダーの共有を許可しているアカウントと同じ情報を入力してください。



「LANx のネットワーク設定の読み取りに失敗しました」と表示された

1. ネットワークアダプターの基本状態確認

① Windows ボタンを右クリックし、[Windows PowerShell] をクリックします。

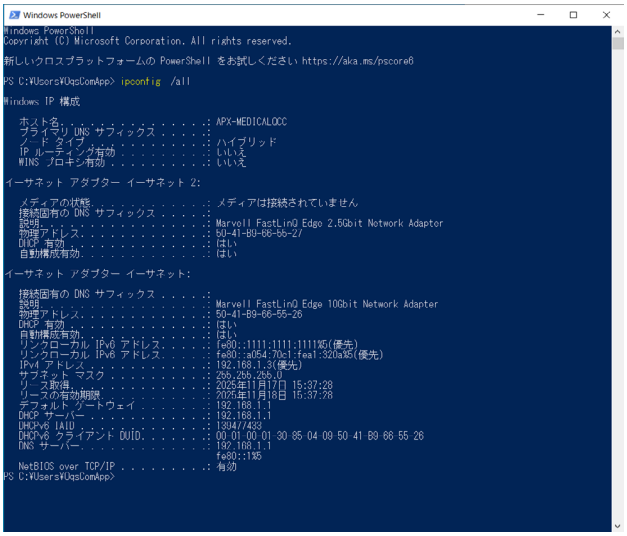
② ipconfig /all と入力し、Enter キーを押します。

③ 表示内容から移行したいネットワークアダプターの下記の状態を確認します。

・物理アドレス (MAC アドレス) が表示されていること

・IPv4 アドレスと IPv6 アドレスの両方またはいずれかが表示されていること

※ IPv6 のリンクローカルアドレス (fe80:: で始まるアドレス) を手動設定している場合、設定書込時にエラーとなるため本ソフトウェアでは移行できません。

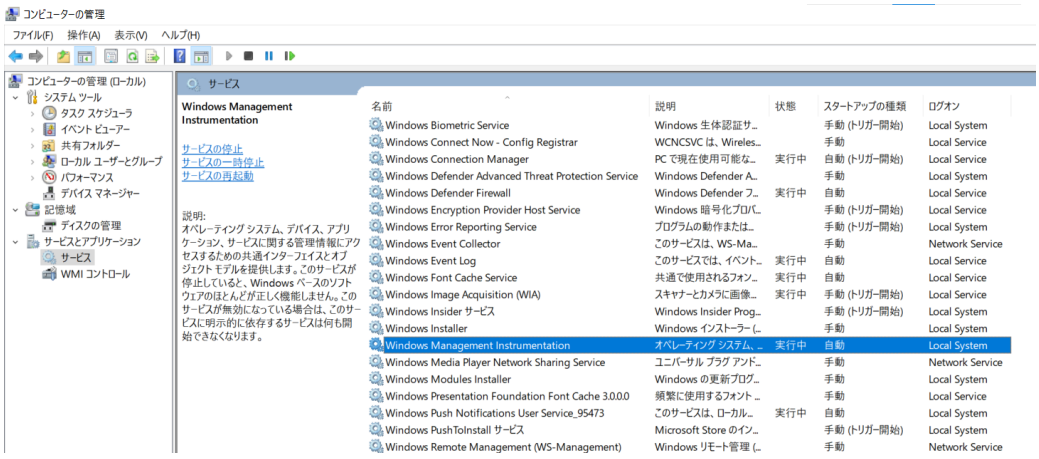


2. WMI（Windows Management Instrumentation）サービスの確認

本ツールは WMI を使用してネットワーク情報を取得しています。WMI サービスが停止していると、設定の読み取りに失敗します。

① Windows ボタンを右クリックし、[コンピューターの管理] をクリックします。

② 左側メニューから［サービスとアプリケーション］→［サービス］をクリック



③［Windows Management Instrumentation］を確認します。

・状態が［実行中］になっていること

・スタートアップの種類が［自動］になっていること

［停止］している場合、サービスを右クリックし［開始］をクリックします。

上記で解決しない場合は、サポートまでお問い合わせください。

【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)

各種データファイル格納ディレクトリの状態確認

1. 各種データファイル格納ディレクトリのパスの確認

① エクスプローラーを開き、以下のパスに移動します。

C:\ProgramData\OQS\OQScomApp\config

※ ProgramData フォルダーは隠しフォルダーになっています。エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。

② UserDefinition.property をメモ帳などで開き、内容を確認します。

パスはファイル内の以下から始まる行で指定されています。

・要求データファイル格納ディレクトリ : RequestDataDir=

・応答データファイル格納ディレクトリ : ResponseDataDir=

2. 各種データファイル格納ディレクトリの存在確認とセキュリティ権限の確認

①エクスプローラーを開き、確認したパスに各種データファイル格納ディレクトリが存在することを確認します。

②存在が確認できたら、ディレクトリを右クリックし［プロパティ］を選択します。

［セキュリティ］タブに「このオブジェクトのプロパティを表示するには、読み取りアクセス許可が必要です。」と表示されている場合、以降の手順で改善する場合があります。

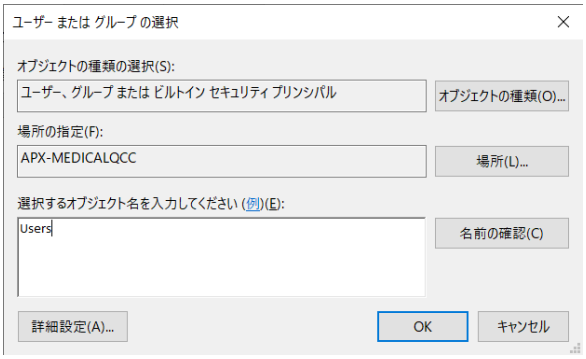
1. ［詳細設定］をクリックします。



2. 所有者の項目で［変更］をクリックします。



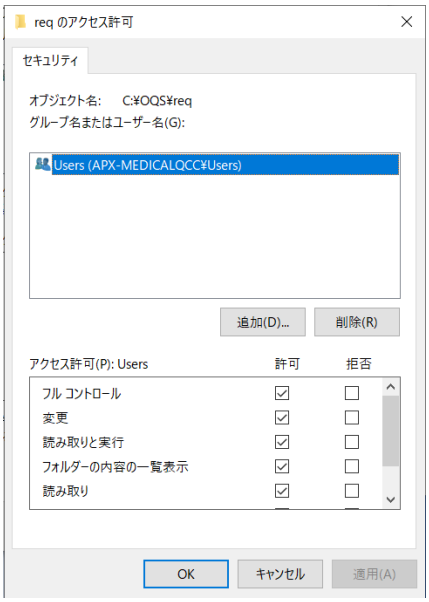
3. ［選択するオブジェクト名を入力してください］に Users と入力し、［OK］をクリックします。



4. [サブコンテナーとオブジェクトの所有者を置き換える] にチェックし、[OK] をクリックします。

5. プロパティ画面に戻ったら［編集］ボタンをクリックします。

6. Users を選び［フルコントロール］にチェックし［適用］をクリックします。



7. [OK] をクリックして画面を閉じます。

セキュリティ権限の確認と設定が完了したら、エクスプローラーの [表示] タブから [隠しファイル] のチェックを外し、再度設定保存または設定書込を実行してください。

エラーメッセージ一覧

▼ 設定保存前

エラーコード	メッセージ	対処
0x05000000	機器がネットワークに接続されていません。 現在使用しているネットワークに接続してから設定保存を再実行してください。	現在使用しているネットワークに接続してから設定保存を再実行してください。

▼ 書き込み前

エラーコード	メッセージ	対処
0x01000000	ドメインに参加している状態では設定移行ができません。 システムの詳細設定より所属するグループをワークグループに設定してから再度実行してください。	ワークグループに変更してから設定書込を再実行してください。
0x02000000	必要なアプリケーションがインストールされていません。 以下のアプリケーションをインストールしてから設定書込を再実行してください。 ・” 不足しているアプリケーションの名前 ”	医療機関等向け総合ポータルサイトにて公開の「医療機関等向けセットアップ手順書資格確認端末編」を参照して、不足しているアプリケーションをインストールしてください。
0x04000000	共有フォルダーの共有を許可するアカウントが存在しません。 ヘルプからマニュアルを開いて、共有を許可するアカウントの作成方法をご確認ください。	【共有用アカウントの作成方法】(8 ページ) を参照してください。
0x06000000	ネットワーク設定移行対象のネットワークアダプターに LAN ケーブルが接続されていません。 対象 : “{ アダプター名 }” LAN ケーブルを接続してから設定書き込みを再実行してください。	移行先の端末をネットワークに接続してから、再度設定書込を実行してください。

▼ 設定保存時のエラー

エラーコード	メッセージ	対処
0x00010103	LAN1 のネットワーク設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、LAN1 のネットワークアダプターの状態をご確認ください。	【「LANx のネットワーク設定の読み取りに失敗しました」と表示された】(9 ページ) を参照してください。
0x00010203	LAN2 のネットワーク設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、LAN2 のネットワークアダプターの状態をご確認ください。	【「LANx のネットワーク設定の読み取りに失敗しました」と表示された】(9 ページ) を参照してください。
0x00010A02	コンピューター設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00010F05	再起動スケジュール設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)

0x00010B02	ファイアウォール設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00010C01	プロキシサーバー設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00010D03	WinHTTP プロキシ設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00010E01	NTP サーバー設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00011104	顔認証共有フォルダー設定の読み取りに失敗しました。 C:\OQS\face フォルダーのアクセス権限をご確認ください。	C:\OQS\face フォルダーのアクセス権限をご確認ください。
0x00011804	要求データファイル格納ディレクトリの共有設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、要求データファイル格納ディレクトリの存在とアクセス権限をご確認ください。	【各種データファイル格納ディレクトリの状態確認】(10 ページ)を参照してください。
0x00011904	応答データファイル格納ディレクトリの共有設定の読み取りに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、応答データファイル格納ディレクトリの存在とアクセス権限をご確認ください。	【各種データファイル格納ディレクトリの状態確認】(10 ページ)を参照してください。
0x00011206	資格情報の読み取りに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00011304	暗号化設定ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config\encrypt.conf	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 C:\ProgramData は隠しフォルダーです。 ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00011504	ユーザー定義ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config\UserDefinition.property	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 C:\ProgramData は隠しフォルダーです。 ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00011604	システム定義ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf\SystemDefinition.property	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。

0x00011B04	顔認証用システム定義ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf\SystemDefinitionForFace.property	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00011C04	顔認証用システム定義ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf\SystemDefinitionForFace.property	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00011D04	顔認証用システム定義ファイルの読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf\SystemDefinitionForFace.property	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。
0x00011A04	配信アプリ設定の読み取りに失敗しました。 ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSDistroApp\config\user.config	ファイルの存在とアクセス権限をご確認ください。 C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。

▼ 設定書込時のエラー

エラーコード	メッセージ	対処
0x00000103	LAN1 のネットワーク設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、LAN1 のネットワークアダプターの状態をご確認ください。	【「LANx のネットワーク設定の読み取りに失敗しました」と表示された】(9 ページ)を参照してください。
0x00000203	LAN2 のネットワーク設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、LAN2 のネットワークアダプターの状態をご確認ください。	【「LANx のネットワーク設定の読み取りに失敗しました」と表示された】(9 ページ)を参照してください。
0x00000A02	コンピューター設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00000F05	再起動スケジュール設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00001001	ディスプレイ設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00000B02	ファイアウォール設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)

0x00000C01	プロキシサーバー設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00000D03	WinHTTP プロキシ設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00000E03	NTP サーバー設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00001104	顔認証共有フォルダー設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00001804	要求データファイル格納ディレクトリ共有設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、要求データファイル格納ディレクトリの保存先フォルダーの状態をご確認ください。	【各種データファイル格納ディレクトリの状態確認】(10 ページ)を参照してください。
0x00001904	応答データファイル格納ディレクトリ共有設定の書き込みに失敗しました。 ヘルプからマニュアルを開いて、応答データファイル格納ディレクトリの保存先フォルダーの状態をご確認ください。	【各種データファイル格納ディレクトリの状態確認】(10 ページ)を参照してください。
0x00001206	資格情報の書き込みに失敗しました。 ヘルプからサポートセンター連絡先をご確認の上、 サポートセンターまでお問い合わせください。	サポートセンターまでお問い合わせください。【サポートセンターへのお問い合わせ】(17 ページ)
0x00001304	暗号化設定ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 ※ C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00001504	ユーザー定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 ※ C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00001604	システム定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。

0x00001B04	" 顔認証用暗号化設定ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config"	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 ※ C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00001C04	" 顔認証用ユーザー定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSComApp\config"	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 ※ C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。
0x00001D04	" 顔認証用システム定義ファイルの書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\Program Files\OQS\OQSComApp\conf"	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。
0x00001A04	配信アプリ設定の書き込みに失敗しました。 ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 対象：C:\ProgramData\OQS\OQSDistroApp\config"	ファイル保存先フォルダーの存在と書き込み権限をご確認ください。 ※ C:\ProgramData は隠しフォルダーです。ご確認の際は、エクスプローラーの「表示」タブから「隠しファイル」にチェックを入れてください。

サポートセンターへのお問い合わせ

弊社では、弊社製品をご購入いただきましたお客様につきまして、製品の修理サービス、電話やメール等によるユーザーサポート、アップデートソフトウェアや製品に関する情報等をご提供しております。

重要

- ●アフターサービスは、対象となる製品の生産終了後5年を目途に終了します。なおOS搭載製品において搭載OSのサポートが終了した場合など、状況によっては製品の生産終了後5年を経過する前に終了する場合があります。
- ●アフターサービスは、株式会社アイ・オー・データ機器のサポートポリシー（https://www.iodata.jp/support/support_p/）に基づき提供します。
- ●個人情報は、株式会社アイ・オー・データ機器のプライバシーポリシー（https://www.iodata.jp/privacy.htm）に基づき、適切な管理と運用をおこないます。

お問い合わせ総合窓口/修理窓口

https://www.iodata.jp/support/after/tel/copld.htm

電話でのお問い合わせ

050-3116-3025

受付 9:00～17:00 月～金曜日（祝祭日・年末年始・夏期休業期間をのぞく）

※お問い合わせいただく際は、商品の型番をご用意ください。

サポート窓口にお問い合わせの際は、以下の情報をご用意ください。

・エラーコード（表示されている場合）
・実行していた操作（設定保存 / 設定書込）
・移行元および移行先端末の機種名
・ログファイル（SettingMigrationTool_QC フォルダー内の logs フォルダーに保存されています）